

# 目 次

## 報 文 病 害 の 部

### (イネ・ムギの病害)

自走式蒸気処理防除機を利用した過熱水蒸気処理がイネ紋枯病菌の菌核に与える死滅効果 .....井鍋大祐・市原 実・斉藤千温・中村浩也	1
乾熱処理と薬剤処理を組み合わせたオオムギ黒節病汚染種子の消毒.....山城 都・高橋怜子・福田 充・青木久美	3
塩基性硫酸銅水と剤によるオオムギ種子の黒節病菌汚染率低下効果.....島田 峻・青木一美・西宮智美	6
コムギ黒節病の種子消毒.....酒井和彦・植竹恒夫・庄司俊彦	8
種子消毒と出穂期前後の薬剤散布を組み合わせたコムギ黒節病の防除.....酒井和彦・植竹恒夫・庄司俊彦	14

### (畑作物・野菜の病害)

ミニトマト促成栽培における結露センサー付き複合環境制御装置を利用した疫病及び葉かび病の発病抑制 .....國友映理子・鈴木菊雄・牛尾進吾	18
退緑黄化病が発生したメロン温室周辺の雑草からのウリ類退緑黄化ウイルスの検出 .....影山智津子・土井 誠・芳賀 一・松野和夫・古木孝典	22
<i>Pythium aphanidermatum</i> によるレタス立枯病 (病原追加) とその発生への気温の影響 .....山内智史・窪田昌春	25

### (果樹の病害)

ナシ黒星病における休眠期から鱗片脱落期にかけての殺菌剤散布適期.....金子洋平・福田 寛	29
ナシ心腐れ症の発生に及ぼす花かす除去の効果.....金子洋平	34
時期及び枝齡の違いがナシ萎縮病菌 <i>Fomitiporia torreyae</i> 接種で生じる腐朽伸長に与える影響 .....塩田あづさ・金子洋平・鈴木達哉・鈴木 健	38

### (花卉・花木・樹木の病害)

キクさし穂の温湯浸漬処理によるキク白さび病の発生軽減効果.....山岸菜穂・石山佳幸・清水時哉	41
<i>Rhizoctonia solani</i> によるキンレンカ株腐病 (新称) .....蓑島綾華・吉澤祐太郎・太田智子・折原紀子・美濃口 薫・堀江博道・廣岡裕吏	44

### (研究手法)

ジャガイモマイクロチューバーを用いた土壌からのトマトフザリウム株腐病菌 ( <i>Fusarium solani</i> f. sp. <i>eumartii</i> ) の検出 .....中山喜一・和氣貴光・山城 都	48
enzyme-linked immunosorbent assay (ELISA) 法による植物ウイルスの検出における消泡剤の使用 .....奥田 充	52

## 虫 害 の 部

### (畑作物・野菜の虫害)

タバコカスミカメに対するトマトの育苗期または定植時処理薬剤の影響 .....土井 誠・土田祐大・石川隆輔・片井祐介・多々良明夫	56
タバコカスミカメに対するピリフルキナズンおよびピメトロジンの影響.....中野亮平・土井 誠・石川隆輔	60
静岡県の温室栽培メロンで発生したミナミキイロアザミウマに対する各種薬剤の殺虫効果 .....石川隆輔・中根 健・土井 誠・中野亮平	65
アカメガシワクダアザミウマ成虫の放飼株から近接株への分散性.....櫻井民人・勝山直樹・津田新哉	69
2種のアブラバチを利用したイチゴのアブラムシ類防除.....小林 誠・西村浩志・伊村 務	73
ナケルクロアブラバチとコレマンアブラバチの併用による2種アブラムシに対する防除効果 .....長坂幸吉・日本典秀・上杉龍士・勾坂 晶・光永貴之	81
群馬県におけるコナガに対する各種薬剤の殺虫および食害抑制効果.....吉澤仁志・大河原一晶・櫻井まさみ	87
山梨県で採取したコナガのジアド系薬剤を含む5薬剤に対する感受性.....國友義博・金谷未央	91
温水かん注によるニラのロビンネダニ防除.....西村浩志	93
茨城県のハス田内部および周縁部における雑草や野良生えハス <i>Nelumbo nucifera</i> へのレンコンネモグリセンチュウ <i>Hirschmanniella diversa</i> の寄生と増殖の可能性について .....高木素紀・後藤万紀・久恒和雅・鹿島哲郎	98
(茶の虫害)	
茶園に生息するヒメアカホシテントウに対する各種農薬の影響.....小澤朗人・内山 徹	102
(果樹の虫害)	
千葉県のコナギに対するチャノキイロアザミウマの発生消長.....河名利幸・大井田 寛	105

ナシ葉におけるチャノキイロアザミウマの発育速度と産卵数	河名利幸・大井田 寛	110
リンゴ園における地表面管理の違いが捕食性節足動物の個体数に及ぼす影響	金子政夫・笹脇彰徳・石井伸洋・加藤秀一	113
(研究手法)		
雨よけハウスにおけるハダニ接種インゲン株を用いたケナガカブリダニ簡易増殖法	下田武志・日本典秀	118

## 第63回研究発表会講演要旨

### 特別講演

チョウ類を通してみた山梨の生物多様性の現状と課題	北原正彦	122
--------------------------	------	-----

### 病害の部

インドトチノキ, ヤマボウシに発生した炭疽病(新称)およびカエデ類炭疽病の病原追加	市之瀬玲美・星 秀男・小野 剛・廣岡裕史・堀江博道	123
<i>Phytophthora primulae</i> によるアシタバ疫病の新発生(病原追加)	小野 剛・廣岡裕史・鍵和田 聡・高原 彩・蓑島綾華・竹内 純・星 秀男・堀江博道	123
東京都におけるワサビ病害の発生実態	小暮璃沙・蓑島綾華・鍵和田 聡・星 秀男・堀江博道・廣岡裕史	124
台木罹病程度が異なるナス発病株から分離した青枯病菌の病原性	古澤安紀子・池田健太郎・酒井 宏・中保一浩	124
ホワイトレースフラワー黄斑病の薬剤による防除	鐘ヶ江良彦・田中千華・海老原克介・植松清次	124
千葉県ニンジン産地におけるしみ症の発生状況について	中村耕士・横山とも子・福地信彦	124
千葉県で発生しているニンジンしみ症の原因について	横山とも子・中田菜々子・中村耕士	125
トウモロコシ種子から高率に検出される <i>Sugarcane mosaic virus</i>	梶浦真衣・前野絵里子・平栗章弘・川合 昭・西尾 健	125
イネ縞葉枯ウイルス感染イネにおける病徴発現とウイルス濃度の解析	奥田 充・柴 卓也・平江雅宏	125
イネ縞葉枯病抵抗性品種によるヒメトビウンカの RSV 保毒虫率の低減効果	植竹恒夫・酒井和彦・浅野 亘	125
メタアナリシスの選択に伴う統計的代償について	光永貴之	126
メタアナリシスによるキャベツパーティシリウム萎凋病の抵抗性品種の評価	池田健太郎・大河原一品・三國和彦・小泉丈晴・酒井 宏・對馬誠也・吉田重信	126
キャベツパーティシリウム萎凋病の診断・対策支援マニュアルの作成と検証	池田健太郎・大河原一品・三國和彦・小泉丈晴・酒井 宏・對馬誠也・吉田重信	126
反射強化マルチの利用によるレタス根腐病レース 1 耐病性品種の高温期における品質向上と発病抑制効果	渡辺賢太・金田真人・伊藤瑞穂・貝塚隆史・柳井洋介・草野尚雄・小河原孝司・鹿島哲郎	127
トマトの萎凋病菌と青枯病菌, およびイチゴ炭疽病菌に対する電解水の殺菌効果	青木美佳・野城いずみ・小島英幹・齊藤拓也・望月浩二・藤田佳克	127
栃木県におけるトマト葉かび病菌の薬剤感受性	森島正二・中澤佳子・福田 充	127
神奈川県におけるトマト灰色かび病菌の QoI 殺菌剤, PP 殺菌剤に対する薬剤感受性	奥村 一	128
乾熱処理と薬剤処理を組み合わせたオオムギ黒節病汚染種子の消毒	山城 都・高橋怜子・福田 充・青木久美	128
金属銀水和剤によるムギ類種子伝染性病害に対する種子消毒の効果	島田 峻・青木一美・西宮智美	128
水蒸気の凝縮熱を利用した種子消毒装置によるコムギなまぐさ黒穂病の防除効果	酒井和彦・野田崇啓・日高靖之	128
山梨県におけるブドウ黒とう病の防除体系	綿打享子・村上芳照・内田一秀・功刀幸博	129
温水処理と併用した土壌還元消毒によるナシ園における白紋羽病発病跡地の消毒	高橋真秀・鈴木達哉・牛尾進吾・金子洋平・平井達也	129
長野県におけるナシ黒星病菌に対する DMI 剤の効力低下	岩波靖彦	129
「リアルタイム梨なび」の開発	金子洋平・牛尾進吾	129
神奈川県で発生しているウメの枝枯れ症状について	岡本昌広・島田涼子・中島 修・折原紀子	130
神奈川県におけるトマト黒点根腐病の新発生およびその病原菌の所属	西村武祥・折原紀子・蓑島綾華・堀江博道・廣岡裕史	130
静岡県におけるオリーブがんしゅ病の発生実態と防除	太田光輝・田中弘太・黒柳栄一・遠 瑞枝・瀧川雄一	130
トマトかいよう病のトマト主要品種に対する発病の品種間差異	高橋怜子・山城 都・福田 充	130
神奈川県内のコマツナに発生した黒斑細菌病(病原追加)	折原紀子・篠原弘亮・瀧川雄一・中村陽香・三神和彦・上原娘香・圓城寺香織・岡本昌広・植草秀敏	131
<i>Pseudomonas cannabina</i> pv. <i>alisalensis</i> によるブロッコリーの花蕾腐敗症状について	石山佳幸・小木曾秀紀・中村憲太郎・山岸菜穂・清水時哉・塩川正則・吉沢栄治	131

## 虫 害 の 部

神奈川県におけるミナミアオカメムシの初確認	白石和弥・秋山絢音・奥村 一・下藺健志・糸山 享	132
リンゴ園における地表面管理の差が生物多様性に及ぼす影響	金子政夫・笹脇彰徳・石井伸洋・加藤秀一	132
明治大学生田キャンパス圃場のオクラにおけるヒメハナカメムシ類の発生推移と品種間差	伊藤 楽・鶴田万智・糸山 享	132
スワルスキーカブリダニを導入した露地ナス圃場におけるカブリダニ類の種構成	櫻井まさみ・漆原寿彦・吉澤仁志・山中 聡	132
間作ムギに発生するカブリダニ類によるネギのネギアザミウマに対する防除効果	土井 誠・土田祐大・増井伸一・中野亮平・石川隆輔	133
ゴミムシが捕食したアオムシの特異的プライマーによる検出	日本典秀・國友義博・横内京子	133
ギファブラバチに対する薬剤散布の影響	野口忠久・北林 聡・桑澤久仁厚・吉沢栄治	133
次世代型バンカー法によるイチゴのアブラムシ防除	西村浩志・小林 誠・伊村 務	133
施設ミニトマト有機栽培における天敵利用による害虫管理の試み	長坂幸吉・勾坂 晶・山内智史・澤田 守・杜 建明	134
ニセラーゴカブリダニと併用可能なカンキツ黒点病防除薬剤	増井伸一・片山晴喜	134
神奈川県川崎市におけるアザミウマ類の発生と殺虫剤感受性の現状	鶴田万智・下藺健志・糸山 享	134
ミナミキイロアザミウマ千葉県内個体群の薬剤感受性の解明	名雪将史・大井田 寛	134
LED光源を用いた予察灯の水稻害虫に対する誘引性	平江雅宏	135
斑点米カメムシ類のフェロモントラップに誘殺されたイチモンジセセリ個体数の推移	石島 力・平江雅宏・奥 圭子・柴 卓也・安田哲也	135
長野県のダイズ圃場における子実加害性チョウ目害虫の発生実態	栗原 潤・竹内博昭・山下 亨	135
ウメ輪紋ウイルスの拡散防止を目的とした春季におけるアブラムシ類の薬剤防除体系	加藤綾奈・山口修平・飯塚 亮・星 秀男	136
高濃度炭酸ガスくん蒸処理による植物体への影響及び害虫に対する防除効果	川田祐輔・大矢武志	136
「赤赤」ネットのタバココナジラミに対する防除効果とトマト育苗中被覆における生育及び収量への影響	大矢武志・安井奈々子・徳丸 晋・阿部弘文・川田祐輔・植草秀敏	136
休作期間が施設ピーマンのサツマイモネコブセンチュウ被害に及ぼす影響	後藤万紀・佐藤麻耶子・小川孝之	136
石灰窒素処理のレンコンネモグリセンチュウ <i>Hirschmanniella diversa</i> に対する密度低減効果	高木素紀・久恒和雅・柏木 優・鹿島哲郎	137
振動を利用して果樹カメムシ類からビワを保護する技術の開発	清水 健・河名利幸・上地奈美・高梨琢磨	137

## そ の 他

関東東山地区に新たに発生が確認された病害虫（2015年度）		138
本会記事		142
英文目次（CONTENTS）		144
関東東山病害虫研究会投稿規定，執筆要領		146
関東東山病害虫研究会賛助会員		150